

## 『第28回リサイクル作品コンクール』審査結果について

白河地方広域市町村圏整備組合（管理者 鈴木和夫 白河市長）は、家庭の廃棄物を利用して作製したリサイクル作品の審査会を令和6年9月19日（木）午後2時より、西白河地方リサイクルプラザで開催しました。

これは、限りある資源を大切にす意識の高揚を図ることを目的として、組合管内26小学校の4年生を対象に、夏休み期間中を利用し、リサイクル作品の作製を依頼して行うコンクール事業で、本年度は、26校504作品の応募があり、各校で事前審査を経た77作品を対象に、組合職員及び衛生施設関係者（計5人）によって審査会が行われました。

審査の結果、いずれもアイデアいっぱいの力作揃いの中から、プルタブ、段ボール、紐、ペットボトルキャップ、折り紙、ヘルメット衝撃吸収ライナー、瓶の蓋を利用して作製した 矢吹町立三神小学校 佐久間 一瑛（さくま いっさ）さんの「THE 戦国時代」が最優秀賞に選ばれました。

この作品は、戦国大名が群雄割拠した動乱の戦国時代を彷彿とさせる実際に着用可能な鎧兜となっております。

独眼竜と呼ばれた戦国時代の英雄、伊達政宗の象徴でもあった三日月の前立て輝く兜は、ヘルメット衝撃吸収ライナーを型に段ボールで形成され、鎧は段ボールで形成された各部位を組み合わせており、総数1,000個以上のプルタブで甲冑の質感を表現している、様々な工夫とリサイクルを意識した作品となっています。

本コンクールは、今年で28回目となり、年々リサイクルを意識した作品が増えており、子供達の豊かな発想にあふれた作品が多く見られました。

### 《 審 査 風 景 》

